

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公開番号】特開 2005-191725 (P2005-191725A)

【公開日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報 2005-027

【出願番号】特願 2003-428100 (P2003-428100)

【国際特許分類】

**H 0 4 N 1/40 (2006.01)**

**B 4 1 J 5/30 (2006.01)**

**G 0 3 G 21/00 (2006.01)**

**G 0 6 F 3/12 (2006.01)**

**H 0 4 N 1/387 (2006.01)**

**G 0 3 G 21/04 (2006.01)**

**B 4 1 J 29/00 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 N 1/40 Z

B 4 1 J 5/30 Z

G 0 3 G 21/00 5 6 2

G 0 6 F 3/12 F

H 0 4 N 1/387

G 0 3 G 21/00 3 9 0

B 4 1 J 29/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 4 日 (2006.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体上に画像を形成し、当該記録媒体を排出する画像形成装置であって、  
 形成の対象となる画像データを含む画像形成指示を受け入れる手段と、  
 前記画像形成指示に関連する、記録媒体の排出条件の設定を取得する手段と、  
 前記取得した排出条件が予め定められた基準条件に合致するときに、前記形成の対象となる画像データに対して複写牽制模様を合成する手段と、  
 を含むことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

記録媒体上に画像を形成し、当該記録媒体を排出する画像形成装置であって、  
 形成の対象となる画像データを含む画像形成指示を受け入れる手段と、  
 前記画像データが予め定められた基準条件に合致するときに、当該画像データに対して複写牽制模様を合成する手段と、  
 を含むことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置において、  
 前記複写牽制模様は、複写後に現出するパターンと消失するパターンとの少なくとも一方によって形成される画像要素を含み、

前記画像要素は、画像形成に係る日時情報を表す画像要素部分を含むことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 4】

記録媒体上に画像を形成する際の利用者認証の有無を設定可能な画像形成装置であって、

処理対象となった画像データに基づく画像の形成の際に、前記利用者認証有りと設定されている場合、前記処理対象となった画像データに所定の複写牽制模様を合成することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 5】

記録媒体上に画像を形成し、当該記録媒体を排出する画像形成装置をコンピュータに制御させるプログラムであって、

形成の対象となる画像データを含む画像形成指示を受け入れる手順と、

当該画像形成指示に関連する記録媒体の排出条件の設定を取得する手順と、

前記取得した排出条件が予め定められた基準条件に合致するか否かを判断し、前記取得した排出条件が予め定められた基準条件に合致すると判断される場合に、前記形成の対象となる画像データに対して複写牽制模様を合成する手順と、

を実行させることを特徴とする画像形成装置の制御プログラム。

【請求項 6】

記録媒体上に画像を形成し、当該記録媒体を排出する画像形成装置をコンピュータに制御させるプログラムであって、

形成の対象となる画像データを含む画像形成指示を受け入れる手順と、

当該画像データが予め定められた基準条件に合致するか否かを判断し、基準条件に合致すると判断される場合に、前記形成の対象となる画像データに対して複写牽制模様を合成する手順と、

を実行させることを特徴とする画像形成装置の制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像形成装置および画像形成装置の制御プログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】